脳血管障害の医療連携

**２．医療連携の必要性と急性期医療の課題**

**◆急性期医療の高度・専門化、機能分化**

①良質かつ適切な医療の提供

②地域の医療資源の有効・公平な活用

③診療報酬の適正化

**◆急性期病院の課題**

**①病診連携の推進**

**②救急医療の推進**

**③高度先進医療**

**病床**

**稼働率**

**低下**

**①紹介率の向上**

**②外来患者の抑制**

**③在院日数の短縮**

**急性期病院は高度・複雑・濃密**

**①DPC導入**

**②IT化（電子カルテ）**

**③クリティカルパス**

**◆連携医療により患者、医療機関は相互に充実**

・ かかりつけの医師と専門医の双方に診てもらえる

・ 満足度と安心感の向上

（診断や治療への不満解消）

・ 通いやすくて便利

患者

診療

受診

かかりつけの医師

受診

診療

・ より充実した専門医療の提供

・ 外来から入院診療へのシフト

・ 救急患者の受け入れ

・ 紹介先・逆紹介先の確保

・ 地域医療への貢献

紹介

紹介（検査）

専門病院

・ 必要時に専門医と相談できる

・ 専門医への相談・検査依頼

（地域医療資源の共有）

・ 診断治療技術の向上

・ 専門医との治療方針の共有

・ 地域医療への貢献

５